

2020年8月

発行:川本雅樹

ご相談・連絡は下記まで

〒639-2314

御所市幸町 296-1

TEL 090-9881-0077

FAX 62-3858



御所市議会議員

こんにちは！<市議会報告 vol. 8>

川本まさきです

6月定例会は6月29日から7月9

日まで、11日間開かれました。私の一般質問は7月1日に行いました。主なやり取りは下記のとおりです。

採決では、市長から提出された条例の一部改正を始め、新型コロナウイルス対策の追加経費を含む2020年度の一般会計補正予算に賛成しました。提案された議案はすべて可決されました。

その他、(仮称)御所市防災市民センター建設の進捗状況や近鉄御所駅周辺整備事業に関する道路計画案などが提示されました。

「コロナ禍と自然災害の複合災害」に対する準備

(川本)6月29日、世界でコロナ陽性者が1000万人を突破するところまででしたが、御所市では現時点でもゼロとなっている。特別定額給付金の住民への届けや次亜塩素酸の配布、マスクの給付、医療機関への援助、小中学校の学校給食費と教材費の今年度無償化、水道料金の基本料金部分(8月、9月)2か月分免除など市の努力に感謝したい。

ところで、いま地震や豪雨災害が起これば、「コロナ禍と自然災害の複合災害」になる。避難所開設となればコロナ対策を踏まえた対応が必要。どのように取り組むのか。

(理事者)避難所に携わる職員の訓練を行った。避難者の受付時の体温測定や問診による避難者カードの作成、これまでも比較して密閉、密集、密接の三密を避けるために面積確保が重要になる。トイレやシャワーの確保など長期の避難生

活にも対応できるようにしたい。

(川本) 雑魚寝はエコノミー症候群を引き起こし、床のほこりやウイルスを吸い込みやすい。プライバシーの確保から段階ベッドとパーティションが欠かせないが、いざという時に持ってくるように業界と防災協定を結んでどうか。

(理事者)段階ベッドやパーティションは必要と考えている。保管スペースとの関係でストックが限定されるので、業者と防災協定締結に取り組みたい

(川本)段階ベッドを実際に組み立てて、寝てみるというような防災訓練をやってはどうか。

(理事者)住民の方々に参加をしていたら、だくというのは非常に重要な視点。今後、取り入れていきたい。

(川本)避難所の充実とともに、避難者に対する医師の診察を受けられるような協力体制はできないか。

(理事者)医師の診察は市民にとっては安心につながる。医師会との連携を図って早期に一定の協定を結んでいきたい。

公衆衛生の充実 保健師の確保について

(川本)保健師が避難所を巡回することが有用だが、市では何名の保健師が働いているのか。また、ここ3年間の保健師の採用状況は？

(理事者)保健師は市全体で11名いるが、ここ3年間では、9名が試験に合格した

が、辞退もあり1名の採用に留まっている。

(川本)せっかく採用した保健師が辞退とは残念だ。保健師は赤ちゃんからお年寄りまであらゆる年齢層にわたって健康について適切な措置やアドバイスを行っている。今年も8月に試験が予定されているが、どのように取り組むか。

(市長)応募が少ない場合は通年採用を検討する。また、現在いる会計年度任用職員を一定の手続きを踏んで正規職員へ転換することも考えていきたい。

(川本)いまはコロナ対応地方創生臨時交付金があって、正規職員の時間外勤務手当や体制充実に使用できる。正規職員配置を重視した公衆衛生充実を目指してほしい。

(仮称)御所市防災市民センター 整備基本計画について

(川本)整備基本計画では、避難者の対象地域は周辺大字の1863世帯、4475人が対象となっているが、市全体を対象とした施設ではないのか。

(理事者)豪雨災害の直近の例を参考に一定の算定基準に基づいて計画した。スナップも含めて1000人(一人当たり2㎡)が避難できるように考えているが、再度検証したい。

(川本)当初描いていた高齢者福祉の課題はどのように反映されているのか。

(市長)この建物は防災がメインの施設だが、平時から福祉的援助を必要とする

人も容易に来られるようにする。風呂については、具体的な計画をだす段階で、議会のみなさんの意見もいただきながら慎重に進める。

(川本)少し遅いのではないか。33億円の巨費を投じるこのセンターは設計・工事一体施工方式で、すでに5月25日に公募されている。基本計画、平面図、断面図も公にされている。11月には仮契約締結予定となっているが、もっと内容的に詰めていく必要があるのでは。

(理事者)再度検証して計画の内容を点検して行きたい。

(川本)平成28年に作成された地域防災計画も実情に合っていない部分がある。見直しが必要では？

(理事者)昨年度、県の防災計画が見直しをされている。これを含めて、今年度地域防災計画の見直しをしていく。

(川本)居住空間についても一人当たり3.5㎡、プライバシー確保など国際的な基準が明らかにされており、これらを踏まえたものにするのが大切。いわゆる雑魚寝を強いるような避難所になることを心配している。

(理事者)そのようなことにならないように努める。

(川本)今回の新型コロナウイルスは、自然環境に人間が介入して招いた危機という点では、地球温暖化とも同じ根っこをもっている。生産のための生産、利潤第一主義を改める必要があると思うが。

(市長)価値観を変えないといけないと考えている。